

東北地方 1か月予報

(11月10日から12月9日までの天候見通し)

平成19年11月9日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

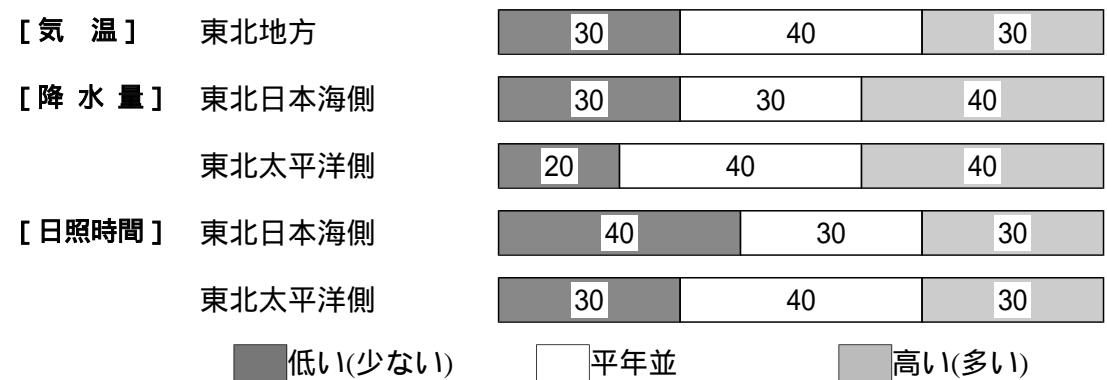
2週目は一時強い寒気が南下し、雪の降るところもある見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

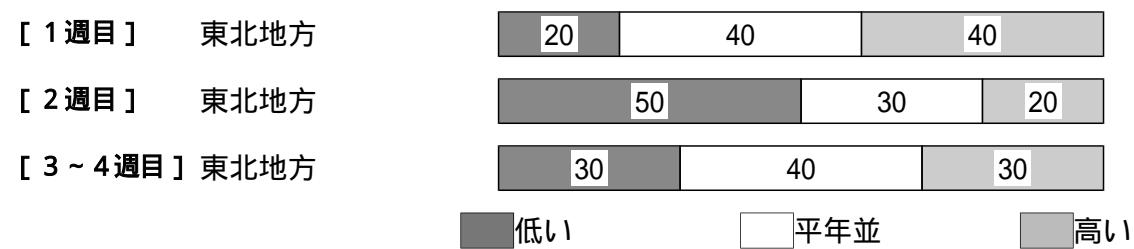
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるものでしょう。期間の前半は気温の変動が大きく、2週目には一時強い寒気が南下し、雪の降るところもある見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目は平年並または高い確率がともに40%、2週目は低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 11月10日(土) ~ 12月9日(日)
1週目 : 11月10日(土) ~ 11月16日(金)
2週目 : 11月17日(土) ~ 11月23日(金)
3~4週目 : 11月24日(土) ~ 12月7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は11月16日
3か月予報：11月22日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	4.7	137.5	73.1	6.9	5.5	3.6
深浦	5.8	151.7	53.4	7.9	6.6	4.7
むつ	4.6	114.7	89.4	6.7	5.4	3.5
八戸	5.0	53.9	128.6	7.1	5.7	3.9
秋田	6.0	191.5	66.6	8.1	6.8	4.9
盛岡	4.0	87.9	106.9	6.2	4.7	3.0
大船渡	6.7	84.6	134.7	8.7	7.4	5.6
宮古	6.2	72.3	144.4	8.3	7.0	5.2
仙台	7.5	52.4	137.3	9.6	8.3	6.5
石巻	6.7	51.9	145.8	8.8	7.4	5.6
山形	5.6	79.2	89.9	7.7	6.3	4.5
新庄	4.7	203.0	50.0	6.7	5.5	3.6
酒田	7.4	235.9	62.5	9.4	8.1	6.4
福島	7.4	53.5	126.5	9.5	8.1	6.2
若松	5.3	78.2	79.2	7.6	6.1	4.1
白河	6.0	54.4	148.6	8.2	6.7	4.8
小名浜	9.2	75.8	165.3	11.3	10.0	8.1

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.7 ~ +0.8	80 ~ 107	96 ~ 105
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	88 ~ 106	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.7 ~ +0.8	66 ~ 105	95 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年11月9日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(11月10日～12月9日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の前半は気温の変動が大きく、2週目には一時強い寒気が南下し、雪の降るところもある見込みです。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(11月10日～11月16日)：

この期間、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いですが、期間の中頃は晴れる日があるでしょう。

なお、期間のはじめは荒れた天気となるおそれがあります。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

2週目(11月17日～11月23日)：

気圧の谷が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

3～4週目(11月24日～12月7日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

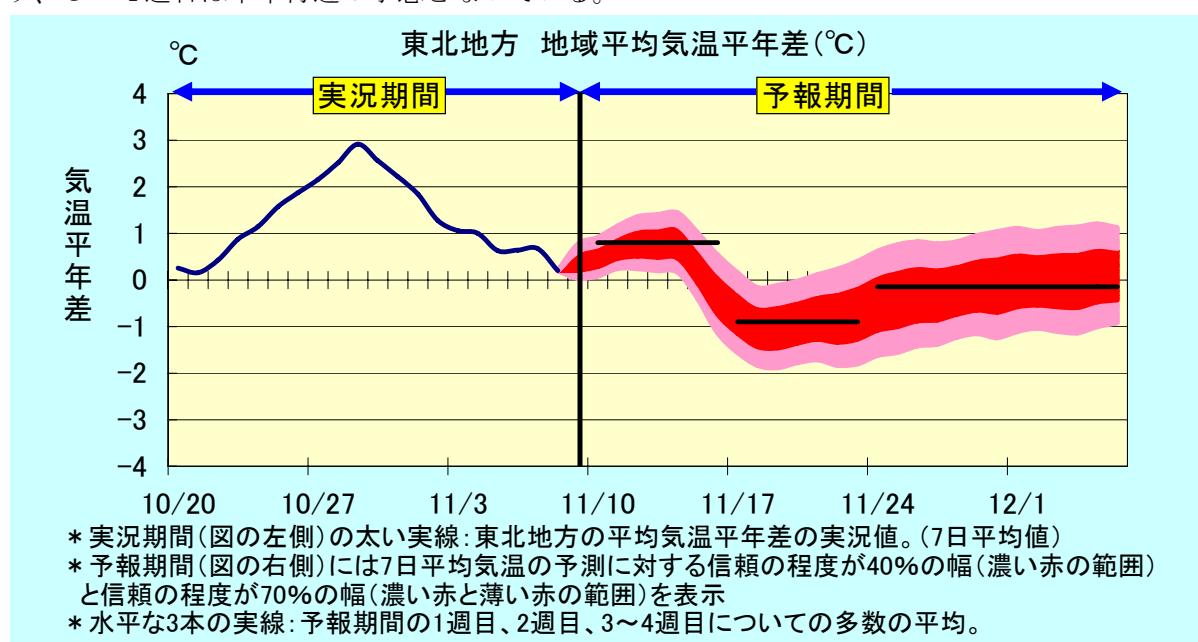
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	6.7日	2.1日	1.8日	2.8日
東北太平洋側	16.3日	4.1日	4.0日	8.2日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目は平年を下回り、3～4週目は平年付近の予想となっている。

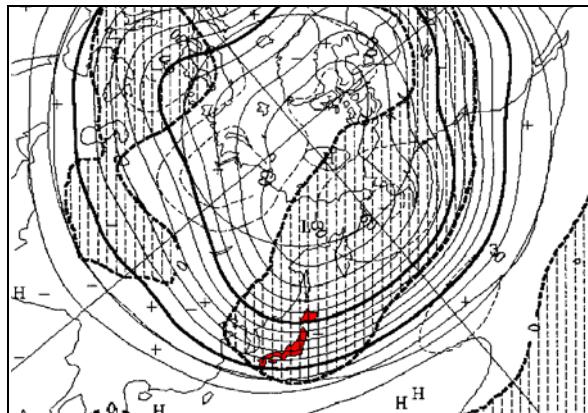


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：日本付近は負偏差で谷場となり、日本海側を中心に寒気の影響を受けやすい。しかし、下層の温度場（図略）は平年よりやや低い程度であることから、寒気の影響は一時的とみる。

1週目：日本の南海上から東北地方まで負偏差。これは、期間のはじめの低気圧による影響とみる。また、日本の北は正偏差で、寒気の影響は小さい。

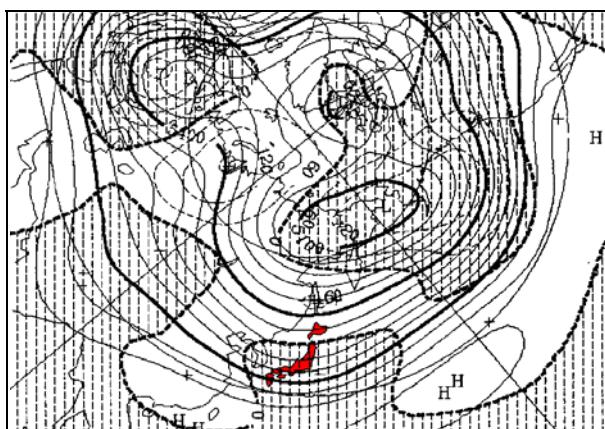
2週目：日本付近は谷場で東北北部には強い負偏差がかかる。等高度線の間隔が狭いため、短い周期で気圧の谷が通過する見込み。地上天気図（図略）では冬型の気圧配置が予想されており、日本海側を中心に寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。



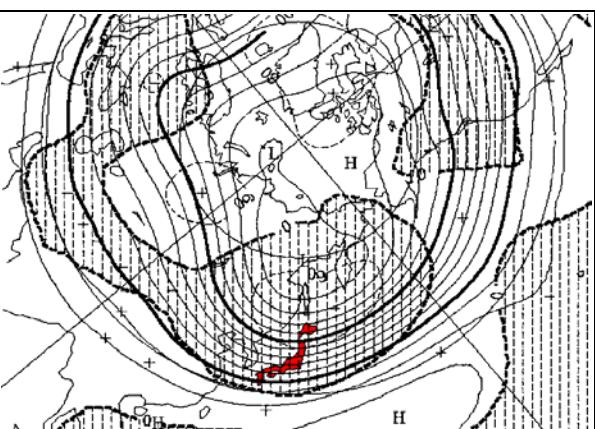
1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ)

ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

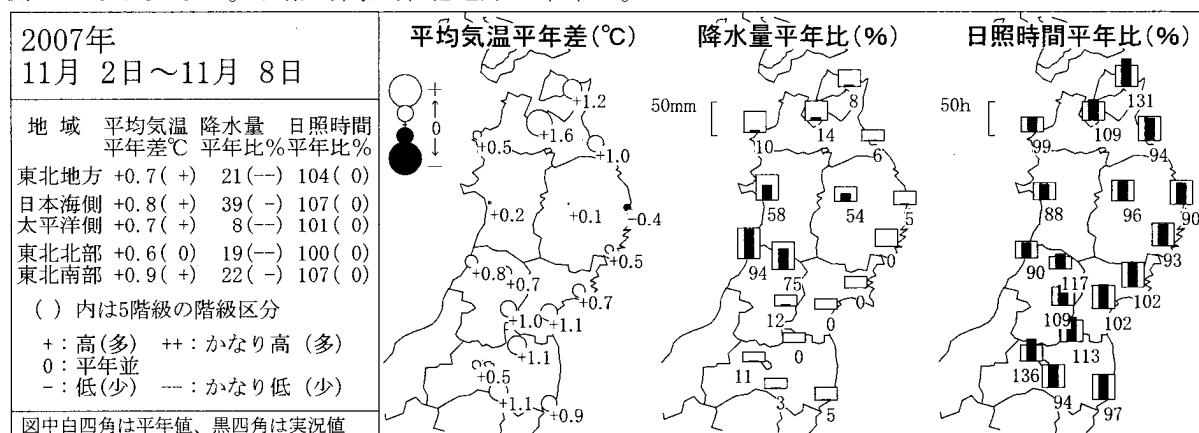
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（11月2日～11月8日）の天候の経過

この期間、移動性高気圧におおわれることが多い、晴れの日が多くかった。期間のはじめと終わりは、前線や気圧の谷の影響により日本海側を中心に雨の降ったところもあった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）